

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2024年 7～9月期の景況 / 2024年 10～12月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は小幅な低下状況が続いている。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2024年7～9月期の実績と2024年10～12月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より▲6.4%の悪化となった。業種別では、卸売業は▲20.0%から▲5.6%へ回復した。建設業は▲13.8%から▲28.6%へ、製造業は▲21.1%から▲37.5%へ、サービス業は▲3.3%から▲15.4%へと悪化した。なお、小売業は前回と同様の▲12.5%となった。

今期中に新規設備投資を実施した企業は37.5%であり、来期の新規設備投資については今期と同様の見込みである。

経営上の問題点については、依然として全業種で「従業員の確保難」が上位に挙げられており、「従業員の確保難」が継続していることがうかがえる。さらに多くの業種で「人件費の増加」や「仕入単価の上昇」に関する問題が上位を占めている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指数を合成して算出する。

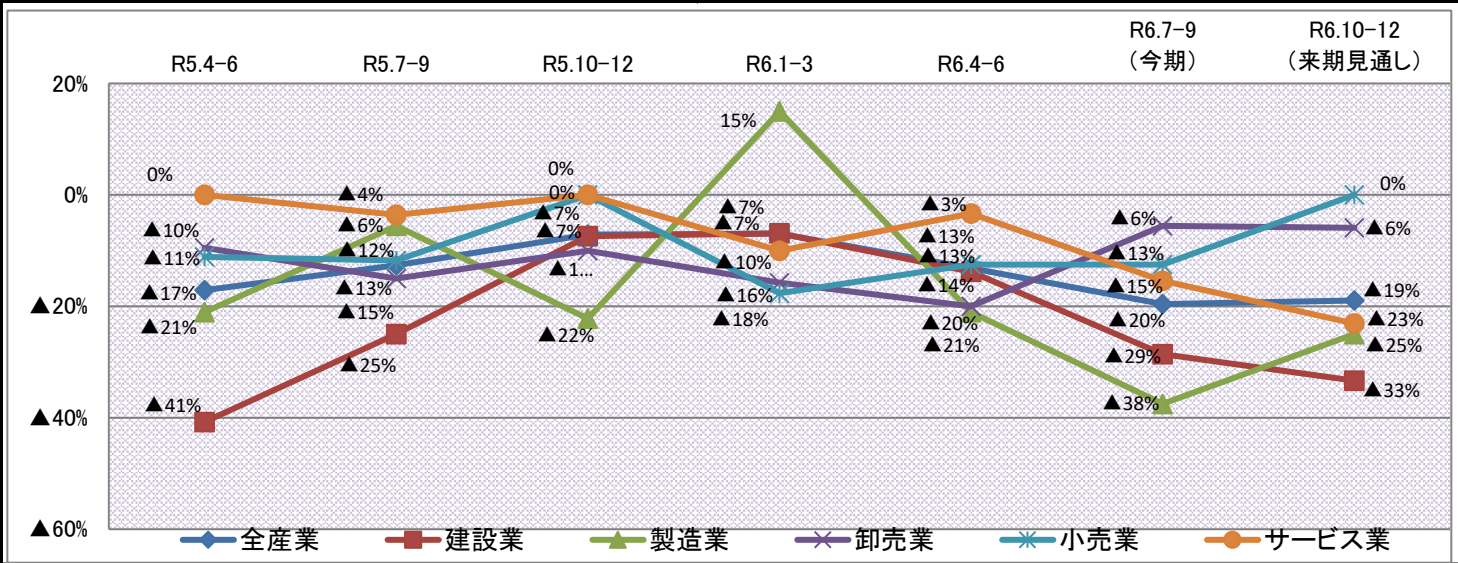
DATA

- 調査期間: 令和6年9月9日～9月20日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業127社
- 有効回答企業数: 101社(79.5%)

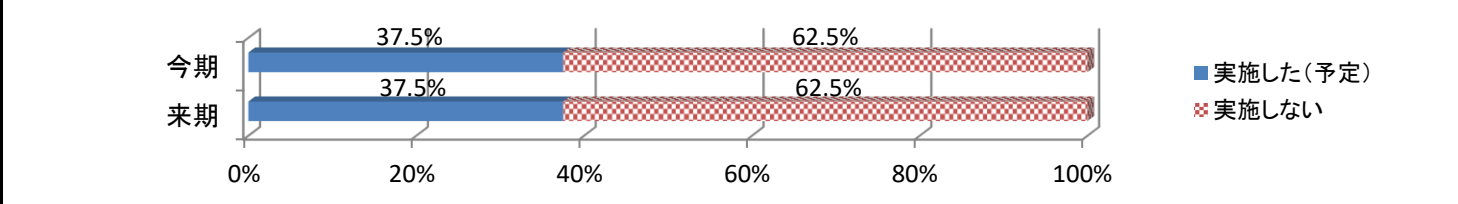
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回は	売上高	前回は	資金繰り	前回は	経常利益	前回は	従業員数	前回は
全産業	▲19.6%	▲6.4%	5.0%	12.8%	▲4.1%	5.5%	▲6.0%	12.4%	▲7.2%	▲0.9%
建設業	▲28.6%	▲14.8%	▲9.1%	11.6%	▲13.6%	▲6.7%	▲9.1%	25.4%	▲4.5%	2.35%
製造業	▲37.5%	▲16.4%	5.88%	10.9%	0.0%	5.3%	▲17.6%	▲7.6%	0.0%	0.0%
卸売業	▲5.6%	14.4%	11.1%	21.1%	16.7%	16.7%	11.11%	31.1%	▲11.1%	▲1.1%
小売業	▲12.5%	0.0%	12.50%	30.15%	▲14.3%	10.71%	0.00%	18.8%	▲21.4%	▲28.6%
サービス業	▲15.4%	▲12.1%	7.4%	▲2.6%	▲7.4%	5.9%	▲11.1%	▲4.2%	▲3.8%	9.9%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	20.0%	原材料価格の上昇	20.4%	従業員の確保難	18.2%	仕入単価の上昇	23.7%	従業員の確保難	21.5%
2位	材料価格の上昇	16.7%	生産設備の不足・老朽化	16.3%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	15.9%	従業員の確保難	13.2%	人件費の増加	13.8%
3位	民間需要の停滞	13.3%	従業員の確保難	16.3%	仕入単価の上昇	15.9%	店舗の狭隘・老朽化	10.5%	利用者ニーズの変化への対応	12.3%
4位	下請業者の確保難	10.0%	製品ニーズの変化への対応	10.2%	人件費の増加	13.6%	人件費の増加	10.5%	熟練従業員の確保難	12.3%